

Masatoshi Lab 利用規約

制定日:2025 年 10 月 25 日／最終改定日:2025 年 10 月 25 日

本利用規約(以下「本規約」)は、神田将俊(以下「運営者」)が提供・運営するウェブサイト Masatoshi Lab(以下「本サイト」)における論文、プレプリント、スライド、データセット、コード その他一切のコンテンツ(以下「コンテンツ」)の公開および利用条件を定めるものです。本サイトの閲覧・利用者(以下「利用者」)は、本規約に同意したものとみなされます。

第 1 条(目的・適用)

- 本規約は、本サイトにおけるコンテンツの利用条件および運営者と利用者の権利義務関係を定めることを目的とします。
- 運営者が本サイト上で随時掲示する個別ルール・ガイドライン・ポリシー(以下「個別規定」)は本規約の一部を構成します。個別規定と本規約が矛盾する場合は、当該個別規定が優先します。

第 2 条(定義)

本規約において、次の各号の用語は、それぞれ以下の意味を有します。

- 「論文」:学術的成果物の本文および付随する図表・付録・参考文献をいう。
- 「データ」:論文の根拠となる原データ、整形データ、メタデータ等をいう。
- 「コード」:解析・可視化・再現実験等に用いるプログラム・スクリプト等をいう。
- 「二次的著作物」:翻案、翻訳、要約、編纂等により生成された成果物をいう。

第 3 条(知的財産権および利用許諾)

- コンテンツに係る著作権その他の知的財産権は、特段の定めがない限り運営者または正当な権利者に帰属します。
- 本サイトのライセンス形態は、別紙 A または別紙 B のいずれかに従います。運営者が明示するライセンス表示がない場合は、別紙 B(権利留保＋引用許諾)を適用します。

3. コンテンツのうちデータおよびコードのライセンスは、別紙 D の定めが優先します。

第 4 条(引用・転載・翻訳)

1. 学術的引用は、著作権法および本規約に従い適法に行ってください。引用にあたっては、出典(著者名／タイトル／版・バージョン／発行年／DOI・URL／参照日)を明確に表示するものとします。
2. 引用の範囲を超える転載・翻訳・要約・図表の再利用は、適用ライセンス(別紙 A または B)に従うか、運営者の事前許諾を要します。

第 5 条(商用利用)

1. 商用利用の可否は、適用ライセンスに従います(CC BY 4.0 は商用可／別紙 B は原則不可)。
2. 出版社・プラットフォーム等での再配布を希望する場合は、事前に【連絡先】までご相談ください。

第 6 条(自動取得・機械学習への利用)

1. 本サイトのロボット・クローリング・スクレイピングによる自動取得は、サーバ負荷・権利保護の観点から、robots.txt のルールおよび本規約に従う場合に限り許可します。
2. コンテンツを機械学習・生成 AI の学習データとして利用する可否は、次の通りとします。
 - **ライセンス別紙 A(CC BY 4.0)**: 帰属表示とライセンス遵守を条件に学習利用を許可。
 - **ライセンス別紙 B(権利留保＋引用許諾)**: 学習利用を**禁止**。個別許諾なくモデルへの取り込みを行ってはなりません。

第 7 条(禁止事項)

利用者は、次の各号の行為をしてはなりません。

1. 適用ライセンスに反する複製・配布・改変・公衆送信等
2. 著作者人格権(氏名表示権・同一性保持権等)を不当に侵害する行為

3. コンテンツの趣旨を著しく損なう切り取り・誤引用・誤解を招く表示
4. 本サイトの脆弱性を探索・攻撃する行為、過度なリクエスト送信
5. 法令・公序良俗または第三者の権利を侵害する行為
6. 反社会的勢力への利益供与または関与

第 8 条(免責)

1. コンテンツは現状有姿(“AS IS”)で提供されます。運営者は、正確性・完全性・有用性・特定目的適合性等を保証しません。
2. コンテンツの利用に起因して利用者に生じた損害について、運営者は、故意または重過失がある場合を除き、一切の責任を負いません。
3. 研究結果・見解は著者個人のものであり、所属機関の公式見解を示すものではありません。

第 9 条(外部サービス・リンク)

本サイトは外部サイトへのリンクを含むことがあります。外部サイトの内容および利用に起因して生じたいかなる損害についても、運営者は責任を負いません。

第 10 条(権利侵害申告・削除要請)

1. 利用者は、自己の権利が侵害されたと合理的に信じる場合、【連絡先】に以下を記載のうえ申告できます: 氏名・連絡先、権利の内容、侵害箇所の特定 URL、理由。
2. 運営者は、必要と判断した場合、該当コンテンツの公開停止・削除等の措置を講じます。

第 11 条(提供の変更・中断・終了)

運営者は、システム保守、法令遵守、研究上の理由等により、本サイトの全部または一部の提供を変更・中断・終了することがあります。

第 12 条(個人情報の取扱い)

本サイトにおける個人情報の取扱いは、別途定めるプライバシーポリシーによります。問い合わせフォーム等で収集する情報は、問い合わせ対応および運営に必要な範囲でのみ利用します。

第 13 条(反社会的勢力の排除)

運営者は、反社会的勢力との一切の関係を遮断します。利用者が反社会的勢力であることが判明した場合、何らの通知・催告を要せず利用を拒否できます。

第 14 条(準拠法・合意管轄)

本規約の準拠法は日本法とします。本規約または本サイトに関して運営者と利用者の間で紛争が生じた場合、東京地方裁判所または東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第 15 条(規約の変更)

1. 運営者は、必要に応じて本規約を変更できます。重要な変更を行う場合は、本サイト上で周知します。
2. 変更後の規約は、本サイト上で表示された時点から効力を生じます。

第 16 条(連絡方法)

本規約に関する連絡は、原則として電子メールにより行います。

連絡先: masatoshilab@gmail.com

別紙 A:コンテンツ・ライセンス(CC BY 4.0)

1. コンテンツは”Creative Commons 表示 4.0 国際(CC BY 4.0)”で提供します。
2. 利用者は、適切なクレジット(著者名／タイトル／出典 URL／ライセンス)を表示し、ライセンスへのリンクを付す限り、複製・改変・頒布・商用利用を含むあらゆる利用が可能です。
3. 帰属表示例
©【著者名】，【発行年】，「【論文タイトル】」、Masatoshi Lab, CC BY 4.0。

別紙 B:コンテンツ・ライセンス(権利留保＋引用許諾)

1. コンテンツの著作権は著者に帰属し、**一切の権利を留保**します。
2. 学術的引用(短い引用・図表の引用)については、出典明記を条件に許諾します。
3. 引用の範囲を超える複製・翻訳・要約・図表の再利用・商用利用・再配布は、**事前許諾が必要です**。
4. 申請先:【連絡先】(利用目的、範囲、媒体、公開予定日を明記)

別紙 C(任意):参考文献・引用表示ガイドライン

- 書誌情報: 著者名(年)『タイトル』版、ページ、DOI／URL、参照日(オンラインの場合)。
- 図表引用: 図表番号、出典のページまたは図表番号を明記。
- デジタルオブジェクト: 可能な限り DOI を付す。

別紙 D(任意):データ・コードのライセンス

1. データ: 次のいずれかを明示します。
 - CC BY 4.0(帰属表示を条件に自由利用可)

- CC0 1.0(パブリックドメイン相当)
 - ODC-BY(データベース権への配慮を含む帰属条件)
2. コード: 次のいずれかを明示します。
- MIT License／Apache License 2.0／BSD-2-Clause／BSD-3-Clause など
3. リポジトリ(GitHub 等)を利用する場合、README に再現手順・依存関係・ライセンスを明示してください。

表示テンプレート(サイト用)

- ・ 著作権表示: ©【著者名】【発行年】
- ・ ライセンス: 【CC BY 4.0 / 権利留保+引用許諾】
- ・ DOI/恒久リンク: 【DOI/ハンドル/ARPKI 等】
- ・ 連絡先: masatoshilab@gmail.com

免責に関する注記(サイト運営者向け)

- ・ 本雛形は一般的情報提供であり、**法律上の助言ではありません**。個別事情(著作権の帰属、契約関係、研究分野特有の規制等)は**弁護士等の専門家に確認**してください。
- ・ **出版社・学会・助成機関の契約/ポリシーが優先**します。著者最終稿(AAM)/版(VoR)、エンバーゴ、OA 分類(Gold/Green/Hybrid)、二重投稿禁止等との整合を必ず確認してください。
- ・ **第三者著作物**(図表・写真・地図・スクリーンショット・商標等)は各素材ごとに権利処理が必要です。引用の適法性、許諾取得、**CC の互換性(BY/SA/NC/ND)**、出典表示方法を記録・管理してください。
- ・ **研究データ**: 個人情報・機微情報の含有、匿名化と再識別リスク、研究参加者の同意範囲、倫理審査(IRB/倫理委)、契約上の守秘義務(CDA/NDA)、共同研究における権利共有を確認してください。二次利用・越境移転の条件も明示を。
- ・ **コード**: 依存ライブラリのライセンス互換性(例: GPL 系の伝播義務)、**特許リスク**、NOTICE ファイル等の三者通知を点検してください。セキュリティ上の脆弱性や API キー等の秘匿情報が混入していないかを確認してください。

- **生成 AI・機械学習**: 本規約・適用ライセンスの範囲で可否を明示してください。学習禁止とする場合は、`robots.txt`、メタタグ(例:`noai/nocrawl`)等の技術的表明も併用。ただし技術的手段は法的禁止を保証しません。
- **輸出管理・経済制裁**: 暗号技術やデュアルユース技術、制裁対象地域・個人への提供は、外為法等の関連法令に適合させてください。
- **専門領域の免責**: 医療・法務・投資・安全保障等の専門コンテンツには、適切な専門免責を併記してください。
- **表示義務の徹底**: 著者名、発行年、版(vX.Y)、更新日、DOI/恒久 URL、本文・データ・コードの各ライセンスを個別に明記してください。
- **版管理と遡及**: 版番号と差分要約を記録し、旧版の許諾条件は遡及変更不可であることを周知してください。
- **侵害申告の受付体制**: 申告窓口、テンプレート、一次対応 SLA、公開停止/再公開の基準、ログ保全方針を定めてください(第 10 条と整合)。
- **ログ/プライバシー**: アクセスログの保存期間、IP アドレス等の取扱い、Cookie/解析ツールの目的をプライバシーポリシーに明記し、法令(個人情報保護法等)に適合させてください。
- **運用セキュリティ**: バックアップ、改ざん検知、過負荷対策、計画メンテナンス等のサイト運用ポリシーを整備してください。
- **準拠法/裁判管轄**: 日本法・東京地裁の取扱い(第 14 条)を維持しつつ、国外アクセスによる抵触法リスクに留意してください。
- 本注記は**内部運用メモ**を想定しています。一般公開する場合は「参考情報」として規約本文と区別して掲示してください。